



事務事業名	土地開発公社運営事業	事務事業No.	50102000287	所属課	地域開発課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 土地開発公社は、公有地の拡大の推進に関する法律第10条に基づき、旧岩瀬町にて昭和48年に設立され、平成17年の市町村合併により、現在の桜川市土地開発公社となった。公社の理事は、市長が任命することとなっており、その事務処理を行ってきた。また、土地の先行取得を依頼することで、土地売買を有利に進めることができ、市の事業に活かしている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 国及び県より、経営健全化に努めるよう意見をいただいている。一方で、土地開発公社が所有する土地について、市の公共事業や民間開発の予定があり、当面は赤字になっていくと想定している。議会には、毎年度、経営状況の報告をしており、特に問題の提起はされていない。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	公社が所有している土地は、20年以上前に取得した長期保有地であり、借換えの際に金融機関の審査に通らないことが懸念される。 近年の土地価格下落傾向や、所有土地を抱えることによる累積債務の増加等、全国的な傾向として土地開発公社の必要性が問われている中、桜川市においても土地を先買いする必要性がなくなってきた。他自治体の公社解散の事例について調査し、必要であれば公社の解散に向けた検討を行う。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市が進める大和駅北地区開発事業を進めるうえで、土地の先行取得は必要不可欠である。今後、公共事業の進捗に合わせて、土地の買い戻しを行うことで、事業を円滑に進めることができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公共用地の先行取得を行うことが、市の事業を円滑に進めることに繋がるため、先行取得を依頼し、適宜、土地を買い戻す。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 迅速な公有地の先買いができるメリットが失われる。事業の遅れに繋がる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市が必要とする土地を先買いするための法人運営業務であり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	適宜、理事の任命、就任承諾書・辞任届の受理を行い、理事の変更登記を促した。 また、5月末に経営状況の報告を受け、市議会への報告を行った。 さらに、市の開発整備の進捗に合わせた土地の買い戻しがあったため、貸付金の繰上償還を受けた。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上			○	×	維持				×	低下				×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上			○	×																						
維持				×																						
低下				×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>